



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月1日

上場会社名 イビデン株式会社  
 コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 佐野 尚  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月6日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 0584 - 81 - 3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	73,301	2.0	4,517	53.1	5,174	28.9	2,903	8.0
2019年3月期第1四半期	71,868	6.3	2,950	2.2	4,015	3.4	2,689	45.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 528百万円 ( 73.8%) 2019年3月期第1四半期 2,017百万円 ( 70.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	20.78	
2019年3月期第1四半期	19.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	394,789	274,048	68.0	1,921.82
2019年3月期	423,056	276,305	64.0	1,938.59

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 268,549百万円 2019年3月期 270,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		20.00	35.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		15.00		20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	145,000	0.5	6,500	10.7	6,500	17.3	2,500	54.6	17.89
通期	300,000	3.0	17,000	67.7	17,000	34.9	7,000	111.7	50.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「会計方針の変更」及び「会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	140,860,557 株	2019年3月期	140,860,557 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,123,697 株	2019年3月期	1,138,769 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	139,733,265 株	2019年3月期1Q	139,718,347 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済に支えられ、全体としては緩やかに成長しましたが、米中の通商問題に端を発した中国経済の減速傾向や各国政策の不確実性に伴うリスクにより、不安定さを増しております。国内経済も、不安定な世界経済の動向に伴う影響を受け、輸出や生産の一部に弱さが見られるなど、企業を取り巻く経営環境は不透明な状況にあります。

半導体・電子部品業界の市場は、パソコン・スマートフォン市場は前年対比でマイナス成長となりましたが、データセンター向けサーバー市場を中心とした新たな市場の成長もあり、全体としては成長傾向で推移しております。

自動車業界の排気系部品市場は、自動車販売台数が世界的にマイナス成長となったことに加えて、欧州乗用車市場におけるディーゼル車販売比率の低下が継続するなど、楽観視できない状況にあります。

このような情勢のもと、当社におきましては、2018年度より始動しております5ヵ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」に基づき、人材育成を基盤に、伸びる市場に対して積極的に経営資源を投入し、既存事業の競争力と新規事業の拡大による安定した成長の実現に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は733億1百万円と前年同期に比べ14億33百万円(2.0%)増加しました。営業利益は45億17百万円と前年同期に比べ15億67百万円(53.1%)増加しました。経常利益は51億74百万円と前年同期に比べ11億58百万円(28.9%)増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては29億3百万円と、前年同期に比べて2億14百万円(8.0%)増加しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

## 電子事業

パッケージ(PKG)事業におきましては、パソコン市場全体は、引き続き前年対比でマイナス成長が継続しておりますが、ICTの進展に伴うデータ処理量の増加により、データセンターで使われるサーバー向けの需要が拡大し、売上高は前年同期に比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板(MLB)事業におきましては、サーバー向けモジュール基板の需要はおおむね堅調に推移しましたが、ハイエンドスマートフォン向けの売上が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、電子事業の売上高は327億33百万円となり、前年同期に比べ14.0%の増収となりました。同事業の営業利益は、PKG事業の成長と不採算製品の生産縮小など、事業の選択と集中を進めた結果、28億71百万円(前年同期は5億17百万円の営業損失)となり、黒字に転換しました。

## セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、主力の欧州市場を中心としたディーゼル乗用車比率低下による影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。今後、排ガス規制の強化に伴い拡大が見込まれる新興国の大型車向けDPF市場におけるシェア拡大と新規顧客への拡販に取り組んでまいります。

触媒担体保持・シール材(AFP)は、中国を中心に、世界的に自動車販売が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

NOx浄化用触媒担体(SCR)は、自動車向け製品及び定置式の脱硝触媒の販売が減少したことにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

特殊炭素製品(FGM)は、半導体市場が堅調に推移したことに加え、新技術・新素材主体に拡販を進めた結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は246億77百万円となり、前年同期に比べ13.2%減少しまし

た。同事業の営業利益は、自動車排気系向け製品の売上減少による影響等を主因に、9億27百万円となり、前年同期に比べ68.6%減少しました。

#### 建設事業

建設部門におきましては、一部工事の施工計画変更により、前年同期に比べ売上高は減少しました。

以上の結果、建設事業の売上高は9億29百万円となり、前年同期に比べ15.3%減少しました。同事業の営業利益は、2億22百万円となり、前年同期に比べ34.5%減少しました。

#### その他事業

建材部門におきましては、住宅設備機器販売部門は、コンポーネント住宅の販売が増加したことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

その他部門におきましては、合成樹脂加工部門は、精密分野向け発泡樹脂製品並びに自動車分野向け射出製品の販売数量増加により、前年同期に比べ売上高は増加しました。

以上により、その他事業の売上高は149億61百万円となり、前年同期に比べ9.9%増加しました。同事業の営業利益は、4億88百万円となり、前年同期に比べ189.6%増加しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	113,492	82,359
受取手形及び売掛金	60,278	60,753
商品及び製品	17,793	14,998
仕掛品	11,357	13,591
原材料及び貯蔵品	19,619	18,782
その他	6,528	6,952
貸倒引当金	△98	△104
流動資産合計	228,972	197,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,212	60,371
機械装置及び運搬具（純額）	46,309	45,123
土地	19,962	19,881
リース資産（純額）	21	27
建設仮勘定	13,342	16,552
その他（純額）	4,863	5,535
有形固定資産合計	146,710	147,491
無形固定資産	4,162	4,087
投資その他の資産		
投資有価証券	39,142	41,901
長期貸付金	9	9
繰延税金資産	2,915	2,948
その他	1,405	1,277
貸倒引当金	△261	△261
投資その他の資産合計	43,210	45,876
固定資産合計	194,084	197,455
資産合計	423,056	394,789

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,562	39,924
短期借入金	20,030	20,030
1年内償還予定の社債	25,000	-
未払金	9,111	9,435
未払法人税等	2,366	1,008
賞与引当金	3,438	1,820
役員賞与引当金	89	-
関係会社整理損失引当金	4,864	2,091
設備関係支払手形	1,618	2,608
その他	12,001	13,997
流動負債合計	118,082	90,916
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	10,000	10,000
リース債務	43	62
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	671	662
株式報酬引当金	179	174
繰延税金負債	1,974	2,544
その他	729	1,311
固定負債合計	28,668	29,823
負債合計	146,751	120,740
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	122,144	122,250
自己株式	△2,602	△2,572
株主資本合計	248,274	248,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,415	14,321
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	10,012	5,658
その他の包括利益累計額合計	22,588	20,139
非支配株主持分	5,442	5,499
純資産合計	276,305	274,048
負債純資産合計	423,056	394,789

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	71,868	73,301
売上原価	56,822	56,775
売上総利益	15,045	16,525
販売費及び一般管理費	12,095	12,008
営業利益	2,950	4,517
営業外収益		
受取利息	66	76
受取配当金	564	533
持分法による投資利益	1	-
為替差益	406	16
その他	145	151
営業外収益合計	1,184	778
営業外費用		
支払利息	37	27
持分法による投資損失	-	1
その他	81	92
営業外費用合計	118	121
経常利益	4,015	5,174
特別利益		
固定資産売却益	4	5
投資有価証券売却益	0	-
その他	-	0
特別利益合計	4	5
特別損失		
固定資産除却損	245	372
関係会社整理損	-	465
災害による損失	67	-
その他	3	141
特別損失合計	316	980
税金等調整前四半期純利益	3,704	4,200
法人税等	942	1,237
四半期純利益	2,761	2,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,689	2,903



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,761	2,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△743	1,919
繰延ヘッジ損益	△393	-
為替換算調整勘定	393	△4,354
その他の包括利益合計	△743	△2,434
四半期包括利益	2,017	528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,936	455
非支配株主に係る四半期包括利益	81	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社は、IFRS第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は、軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、当第1四半期連結会計期間より、次世代及び新分野向け設備投資が当連結会計年度より順次稼動することを契機に、一部の電子部品製造設備について使用状況を見直した結果、耐用年数を見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方法と比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益並びに税金等調整前四半期純利益が1億33百万円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	建設	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	28,725	28,428	1,096	58,251	13,616	71,868	—	71,868
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	82	1,376	1,459	257	1,717	△1,717	—
計	28,726	28,511	2,472	59,710	13,874	73,585	△1,717	71,868
セグメント利益又 は損失(△)	△517	2,952	340	2,776	168	2,944	5	2,950

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額5百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	建設	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	32,733	24,677	929	58,339	14,961	73,301	—	73,301
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	64	1,352	1,417	1,741	3,158	△3,158	—
計	32,733	24,741	2,281	59,757	16,702	76,460	△3,158	73,301
セグメント利益	2,871	927	222	4,022	488	4,510	6	4,517

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「建設」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

4 会計上の見積りの変更

当第1四半期連結会計期間より、当社の次世代及び新分野向け設備投資が当連結会計年度より順次稼働することを契機に、一部の電子部品製造設備について使用状況を見直した結果、耐用年数を見直し、将来にわたり変更しております。

この変更により、従来の方と比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が「電子」で1億33百万円増加しております。